



2013  
春季号

# ほっと石川



特集①

全国へ発信！  
ブランド化最前線

特集②

“いしかわの港湾”  
新時代が幕を開ける！

トピックス

いよいよ「無料化」スタート  
ふるさと紀行「のと里山海道」

特集①  
全国へ発信！  
ブランド化最前線 ..... 2

特集②  
“いしかわの港湾”  
新時代が幕を開ける！..... 6

知事の窓 ..... 9

ほほえみ 石川のボランティア  
かげぼうし2の会(小松市)..... 9

トピックス  
いよいよ「無料化」スタート  
ふるさと紀行  
「のと里山海道」.....10

おでかけ情報  
ラ・フォル・ジュルネ  
金沢2013 .....12

里山里海だより  
能登島長崎町(七尾市) .....14

ふるさとの歴史・文化を探る  
白山ろく  
民俗資料館(白山市) .....15

兼六園無料開園&  
金沢城・兼六園  
観桜期ライトアップ .....16

表紙について

■シリーズ  
いしかわのお楽しみスポット  
青柏祭(七尾市)

5月3日～5日にかけて、高さ約12メートル、重さ約20トンの巨大な山車「でか山」が七尾市街地を練り歩く青柏祭。1000年以上の歴史がある県内を代表する春の祭礼で、現在のように山車が大きくなったのは造船技術が発達した藩政期に入ってからと言われ、上部に広がるその形は北前船を模していると考えられています。北前船が行き交った江戸時代から明治時代のにぎわいに負けないよう、県では港湾の活用策に知恵を絞っています。新時代を迎えた石川の港湾については、6ページからチェックしてください。

表紙イラスト制作/アマヤギドウ ジュン(金沢市在住)

特集①  
全国へ発信！  
ブランド化  
最前線

南北に細長くのびる石川県。金沢・加賀・能登の各地域ではそれぞれの自然環境を生かした農林水産業が盛んで、ブランド化が着々と進んでいます。今回の特集では、ブランド化に取り組んでいる多くの県産農林水産物の中から「エアリーフローラ」「能登牛」「能登棚田米」をピックアップ。平成27年春の北陸新幹線金沢開業まであと2年、「食」が旅先を決める大きな要因となっていることから、新幹線開業を機に多くのお客様に石川に訪れていただけるよう、現在、県が進めるブランド化について紹介します。

石川県オリジナルの  
フリージア  
新しい名称が決定

エアリーフローラは、県が8年かけて開発し、今年から本格的な出荷が始まった石川生まれのフリージアです。一番の特色は豊富なカラーバリエーション。国内で流通するフリージアはオランダ原産で原色の黄色が多いのに対して、パステル系の薄紫やピンク、オレンジなど7色をそろえています。日本人の好む中間色のかれんな花は昨年、早くも市場の注目を集め、価格が従来のフリージアの1.5倍となるなど高い評価となり

”7色に輝くフリージア”  
優雅な春の女神



石川を代表する花として栽培法の確立が進められています

エアリーフローラは甘い香りも魅力です

ました。エアリーフローラの名は、優美さや軽快さ、高貴さを感じられる点が新品种にふさわしいことから「優雅な春の女神」という意味が込められています。また、キャッチフレーズは「旅立ちを祝う花」、花言葉は「希望」にそれぞれ決められました。出荷のピークを迎える3～4月に行われる卒業式や入学式をイメージする花として発信していきます。

東京ドームを会場に開かれた1月の「ふるさと祭り東京2013」では県の観光ブーシに出展するなど、PR活動を展開しています。県では今後、市場からのニーズに応えるため、8色目となる白色のフリージアの開発や早期出荷の研究を進め、さまざまな場面で使ってもらえるようにするほか、県内外の花き関係者をはじめ、観光などの幅広い業界と連携し、石川の花として定着させてい

く計画です。そして、新幹線の金沢開業時には、華やかなフリージアで金沢駅を彩ることで、花のキャッチフレーズのように、石川の飛躍に向けた「新たな旅立ち」を祝うことができると考えています。



栽培農家  
北佳浩さん  
きたよしのり

生産者の声

さらに研究を進め、期待の声に応えたい  
エアリーフローラは新しい種類のフリージアということもあり、水やりや肥料、温度管理など栽培法はまだまだ試行錯誤を繰り返している段階です。一方、7色とカラーバリエーションが豊富なフリージアは購入者から大変好評という話をよく聞きます。生産者としてはうれし限りで、今後も県農林総合研究センターなどと連携しながら、長期間、出荷できる態勢を整えるなど、市場から寄せられる期待の声に応えていきたいと考えています。ちなみに、フリージアは、花瓶に挿した状態でも長い間、楽しめる花です。つぼみが複数ある場合、最初に開いた花がしぼみかけたら摘み取ってください。残ったつぼみが花開く2番花が楽しめますよ。



# トップブランドに負けない おいしさが全国に浸透中

## プレミアム制度で ブランドカアップ

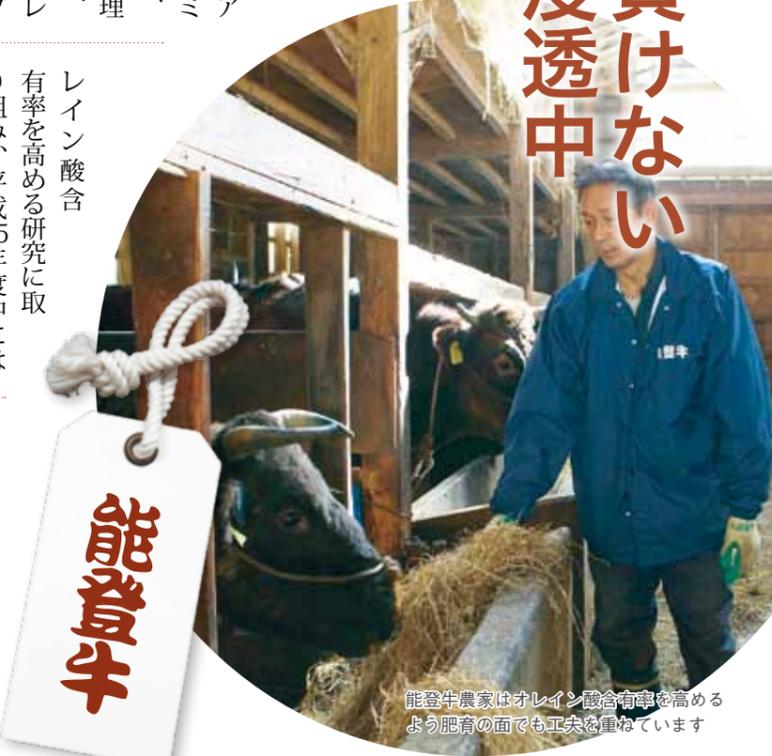
県では、能登牛を全国に通用するブランドとして育成するため、年間1000頭の生産を目標として、生産拡大に対する取り組みを支援してきました。

能登牛は、霜降りの度合いなど一定の基準を満たしていることや、石川県内で最終的に飼育され、最も長い期間育てなければならぬなど、数々の厳しい条件をクリアしてようやく認定される黒毛和牛です。そして、能登牛のブランド力向上を図るため、最上級のA5等級に格付けされた能登牛の中でも、特に肉質が優れているものを「能登牛プレミアム」として認定するプレミアム制度を創設するなど、生産者は徹底した品質管理を行っています。加えて、おいしさの指標となるオレイン酸含有率は全国トップクラス。和牛のオリンピックと言われる「全国和牛能力共進会」でも昨年、オレイン酸含有率が全国で3番目に高いという結果を得たことから、前回大会の「おいしさ日本一」受賞に続き能登牛のおいしさを評価が定着してきたと言えます。



オレイン酸を豊富に含む  
脂肪の質の良さが自慢です

さらに、県農林総合研究センターでは、よりおいしい能登牛を生産するため、オレイン酸含有率が高いという結果を得たことから、前回大会の「おいしさ日本一」受賞に続き能登牛のおいしさを評価が定着してきたと言えます。



能登牛農家はオレイン酸含有率を高めるよう肥育の面でも工夫を重ねています

レイン酸含有率を高める研究に取り組む、平成25年度中には肥育マニュアルとしてまとめ、生産に役立ててもらおう計画です。

## 県外畜産企業を誘致 年間1000頭出荷 体制が確実

県では、新たな担い手として県外の畜産企業の誘致に取り組む、その結果、今年1月、群馬県の畜産企業が石川県への進出を表明しました。25年度には、県が

所有する旧内浦放牧場（能登町）に牛舎を建設し、27年度には年間300頭の能登牛を出荷する計画です。これにより、北陸新幹線金沢開業時に年間1000頭出荷する体制を整えるという目標の実現が、確実となります。

県としては、引き続き、能登牛のブランド化と生産体制の整備を進め、万全の準備をしていきたいと考えています。

# 化学肥料・農薬の5割減目指し エコ栽培で棚田保全に一役

## 奥能登の4つのJAを 中心にスタート

県内の棚田面積の約8割が集中する能登地域。階段状に連なる小さな水田は、世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」を象徴する光景と言えます。穴水町以北の奥能登の4

つのJAではそんな特色を生かし、平成24年度から全農石川県本部、県や市町と連携して、棚田で栽培した米を「能登棚田米」としてブランド化する取り組みを始めました。能登棚田米は化学肥料・農薬を通常よりも3割以上削減して栽培したコシヒカリを指し、将来的には5割以上の削減を進めていきます。県では、この取り組みを通じて、環境にやさしい栽培を徹底し、豊かな

生態系の保全を目指していきます。耕作放棄地の増加を食い止めることも目的の一つ。ブランド化で市場価格を高め、農家の経営を改善し、棚田の維持保全・担い手不足の解消につなげていきたいと考えています。

## 首都圏で積極的にPR 味の評価は上々

知名度アップや販売ルートの開拓などを目的に、PR活動も積極的に進めています。昨年10月には東京・日本橋三越本店で開かれた能登の里山里海の魅力を紹介するフェアに出品。用意



共通のロゴや袋で  
ブランド化を進め

した440袋（精米2キロ入り）が一般的な価格よりも高いにもかかわらず完売する人気で、試食した来場者からも「どこで買えるのか」「今まで食べていたブランド米よりおいしい」などのうれしい声が数多く聞かれました。

4つのJAや県などでは能登棚田米の栽培面積を平成26年度までに現在の約4倍となる100ヘクタールに拡大する予定で、栽培方法や品質向上について農家への研修会などを実施しています。さらに、今後は売り上げの一部を農作業ボランティアへの支援に当てるなど、棚田の保全活動に役立てていく計画です。

## 生産者の声

昼夜の寒暖差が  
おいしさを  
はぐくみます

能登の棚田で作られるお米は味も格別です。その秘密は昼夜の寒暖差が大きいことで、それによって米1粒1粒においしさがじっくりと蓄えられていきます。

一方で、環境にやさしい能登棚田米を生産するにはあぜやのり面に除草剤が使えず、草刈りが必要となるなど、大変な面も少なくありません。さらに、平成26年からは付加価値を高めるため、化学肥料・農薬の使用量の削減基準を3割から5割以上とする予定です。一層厳しくなった基準をクリアすることは簡単ではありませんが、生産者同士や関係機関が今まで以上に連携しながら、一丸となって能登棚田米をより魅力ある石川ブランドに育てていきたいと考えています。

## 生産者の声

工夫を凝らして  
ますますおいしく  
なっています

近年、能登牛の肉質の良さはぐんと高まり、どのブランド牛にも負けないほどになりました。能登牛のおいしさを作り上げてきた理由の一つは、生産者一人ひとりの熱意です。現在、能登各地で活躍する生産者は20年から30年のキャリアを持つ方が多く、交配やエサやりなど、繁殖から肥育にいたるまで、長年、工夫を凝らしてきたことが味に表れているのだと思います。

半面、生産量はまだまだ少なく、県民の皆さんからは「食べたくても食べられない」という声をよく聞きます。もつと多くの方に能登牛のおいしさを知ってもらえるよう、新たな担い手の発掘など、供給体制の充実に向けて一層、努力していきたいと思っています。



能登棚田米生産部会長  
石倉 稔さん



能登和牛改良組合長  
中瀬 晴夫さん



2月、RORO航路が増便  
国際物流拠点港に弾み

金沢港では、平成24年のコンテナ取扱量は4万7846本(20フィート換算)に達し、過去最多を更新しました。国際定期航路は、今年2月に金沢港と韓国・馬山、釜山新港を行き来する\* RORO航路が週1

便から週2便体制に。週1便の国際定期航路が就航し、世界と石川を結んでいます。

好調なコンテナ量の増加に対応するため、コンテナをトレーラーの荷台に積み降ろしする荷役機械であるトランスフアーケレーンを御供田コンテナターミナルに導入。今まで2段しか重ね積みできなかったコンテナが、4段まで積めることで従来よりもコンテナ取扱量は30%多くなるほか、現在使用している荷役機械に比べ、積み卸しスピードが向上します。

県では、地元企業に「マイポート」として地元港の利用を働きかけるなど、官民一体となって一層の国際物流拠点としての飛躍を目指していきます。

アジアでのクルーズ船人気が高まり、日本へ寄港するクルーズ船が増えてきています。金沢港でも、今年は14隻のクルーズ船が寄港する予定で、受け入れ人数は過去最多となる約1万人を見込んでいます。寄港増加の理由には、観光地まで

**クルーズ船が14隻寄港し過去最大の約1万人が上陸受け入れ態勢を充実!**

また、今後もクルーズ船の安定した寄港につなげていくためには、これからの受け入れ態勢を充実させることが重要と考えており、観光事業者、バス事業者などでクルーズ船の受け入れ組織「クルーズ・ウエルカム・クラブ(仮称)」を設立し、港から市街地へのシャトルバ

5キロ以内という近さが挙げられます。中でも、目玉となるのが、日本寄港船としては最大級のクルーズ船で、乗客定員数は約3800人。金沢市内の観光地へのアクセスの良さに加え、伝統と最先端が共存する高い文化性が評価され、寄港が決まりました。大型貨物船用として水深12メートルで供用している大浜埠頭が大型クルーズ船の受け入れに役立つと思われ恩恵をもたらしており、今後も多くのクルーズ船を誘致していきたいと考えています。

また、今後もクルーズ船の安定した寄港につなげていくためには、これからの受け入れ態勢を充実させることが重要と考えており、観光事業者、バス事業者などでクルーズ船の受け入れ組織「クルーズ・ウエルカム・クラブ(仮称)」を設立し、港から市街地へのシャトルバ

利用率が低く、伸びしろが期待されるのが、東南アジア向け貨物です。県では、直行航路がない東南アジア方面への貨物を、アジアのハブ港である韓国・釜山港などで積み替えて輸送することで増やした荷主を支援するなど、中国以遠のアジアへの海上物流ルートの利用拡大を進めていきます。

貨物量の増大と大型クルーズ船の寄港に対応し、大浜埠頭の大水深岸壁を延伸します。金沢港は、港湾活用型企業の進出と港湾整備が連携した全国でも数少ないモデルケースで、さらに今回の延伸で大型貨物船2隻の同時接岸や10万トン級の大型クルーズ船が接岸でき、金沢港の機能が大幅に向上します。

また、今後もクルーズ船の安定した寄港につなげていくためには、これからの受け入れ態勢を充実させることが重要と考えており、観光事業者、バス事業者などでクルーズ船の受け入れ組織「クルーズ・ウエルカム・クラブ(仮称)」を設立し、港から市街地へのシャトルバ

また、今後もクルーズ船の安定した寄港につなげていくためには、これからの受け入れ態勢を充実させることが重要と考えており、観光事業者、バス事業者などでクルーズ船の受け入れ組織「クルーズ・ウエルカム・クラブ(仮称)」を設立し、港から市街地へのシャトルバ

また、今後もクルーズ船の安定した寄港につなげていくためには、これからの受け入れ態勢を充実させることが重要と考えており、観光事業者、バス事業者などでクルーズ船の受け入れ組織「クルーズ・ウエルカム・クラブ(仮称)」を設立し、港から市街地へのシャトルバ

また、今後もクルーズ船の安定した寄港につなげていくためには、これからの受け入れ態勢を充実させることが重要と考えており、観光事業者、バス事業者などでクルーズ船の受け入れ組織「クルーズ・ウエルカム・クラブ(仮称)」を設立し、港から市街地へのシャトルバ



トランスファークレーンやガントリークレーンをそろえ、荷役能力が高まります

\*RORO船・・・車両甲板を備えた貨物船で、車両を運転して積み込めるのが特徴

# ハブ港に近く、観光地にも近い「2つの距離」で飛躍する金沢港



クルーズ船「飛鳥II」が寄港し、にぎわいを見せる金沢港

## 特集②

# “いしかわの港湾”新時代が幕を開ける!

“いしかわの港湾”は今、交流人口の拡大や物流の拠点として活気にあふれています。中でも、平成23年に「日本海側拠点港<sup>※1</sup>」に選定された金沢港と、「拠点化形成促進港<sup>※2</sup>」に選ばれた七尾港では、多岐にわたる取り組みがスタートし、交流人口や物流の面で新時代を迎えています。

※1・・・日本海側拠点港は、中国や韓国など北東アジアとの貿易・観光のネットワーク構築に向けて国土交通省が選定。金沢港は「国際海上コンテナ」「外航クルーズ(背後観光地)」の2機能で選ばれています。  
※2・・・拠点化形成促進港は、港が掲げる計画の実現を国が後押ししており、七尾港では原木の新たな輸送システムの確立を目指しています。

## 金沢港 クルーズ船 寄港スケジュール

5月4日/5月6日 カレドニアン・スカイ(初) 91メートル 4200トン 無量寺埠頭	6月2日 クリッパー・オデッセイ 102メートル 5218トン 無量寺埠頭
5月12~13日/7月9日 サン・プリンセス(初) 261メートル 7万7441トン 戸水埠頭	7月24日 ばしふいっくびいなす 183メートル 2万6594トン 無量寺埠頭
5月16日 コスタ・ビクトリア(初) 253メートル 7万5166トン 戸水埠頭	8月17日 マリナー・オブ・ザ・シーズ(初) 311メートル 13万8279トン 大浜埠頭

### 最大級の客船が金沢に!



9月30日 ハンセアティック(初) 123メートル 8378トン 無量寺埠頭	10月17日 ル・ソレアル(初) 142メートル 1万7000トン 無量寺埠頭
秋期に4回 飛鳥II 241メートル 5万142トン 戸水埠頭	

# 木材輸入の拠点を目標して 今年1月、トライアル輸送実施

3万トン級船が入港可能な  
水深11メートルに整備

七尾港では、原木輸送の拠点化を目指した取り組みが加速しています。昨年には、整備を進めていた大田水深岸壁が水深11メートルとなり、3万トン級の大型貨物船が入港できるようになりました。

これを契機とし、県では今年1月、北米産原木のトライアル



▲木材輸入の拠点を目標す七尾港

▶七尾港では木材を濡らさず保管できる上屋が充実しています



輸送を初めて実施しました。トリアル輸送は、大型貨物船で七尾港に一括で仕入れた原木を分け、日本海側の各港に運ぶ仕組みを作る取り組みです。より効率的な原木輸送ルートの構築を目指すもので、今回のトリアル輸送ではカナダを出港した大型貨物船が原木を輸入。その一部が、七尾港を経由して新潟方面に輸送されました。

## 原木や木材製品を扱う 木材の総合拠点港へ

県では、七尾港を日本海側の原木取扱港の拠点とするため、商社や地元経済界と連携し、今後もトリアル輸送を実施していく方針です。さらに、濡らさずに保管できる上屋が充実していることから、原木だけでなく、幅広く木材製品も取り扱う木材の総合拠点港を目指した、新たなトリアル支援制度を導入し、七尾港の「日本海側拠点港」への昇格に向けての実績を積み重ねていきます。

## 優位性を生かし 船舶整備の拠点化へ

七尾港では、冬でも波が穏やかで日本海側有数の造船業の集積地であるという優位性を生かし、船舶整備の拠点も目指しています。県では引き続き、地元造船5社と官民合同で戦略的なセールス活動を実施するほか、修理・保管のために秋田港から舞鶴港までの各港から初めて七尾港に運んでくる作業船の移送費用の一部を助成していきます。

こうした取り組みを通して、冬期に修理・保管を行う作業船の七尾港への集積を図りたいと考えています。



▲七尾港では冬期に船の修理・保管を担う港として、にぎわいの創出に努めています

●問い合わせ 県港湾活用推進室 TEL 076 (225) 1516

## 七尾港

NANAO

「売り手よし、買い手よし、世間よし」。この言葉は、全国を行商に歩いた近江商人が大切にしていた「三方よし」の商いの心です。お客様に喜ばれ儲けるだけでなく、「地域の発展にも貢献するように」という教えであり、これを真直に守った近江商人の流れが、現在、日本を代表する数々の企業の礎となったのでした。

ところで、石川県の農業は米を除いて、一つの作物を大量につくれる土地柄ではありません。多品種少量生産のため、どれも産地化が難しく、価格競争で不利になります。今号で紹介した石川産農産物のブランド化は、その弱みを強みに変えるための挑戦です！

石川ならではの希少性や市場ニーズをとらえた商品開発がブランド化につながり、消費者は少々高くても品質や安全性の高さに満足して買ってくれます。本格的な出荷が始まった石川オリジナルのフリージア「エアリ



## 農産物ブランド化で “三方よし”の石川を

「フローラ」もルビローマン同様、市場での人気が高く、従来品の1.5倍の高値がついています。ブランド化は生産者の収入増にも貢献します。そうなれば生活が豊かになり、生産体制が安定することで農村に新たな雇用が生まれ、集落や地域が元気になるります。

さらには、ブランド農産物がたくさんあることで、石川県の個性に一段と磨きがかかります。食材の持ち味を存分に引き出し、九谷焼や輪島塗などの器に盛りつけてもてなす食文化が、さらに輝きを増すからです。

北陸新幹線開業まであと2年。「そんなおいしいものがあるなら、ぜひ行って食べてみたい」。石川の食のファンが増えるほど、都市や観光地だけでなく農村にも笑顔が広がります。そう、ブランド化で「三方よし」の石川をつくりましょう。

smile 石川のボランティア

## かげぼうし2の会 （小松市）

## 社会参加を通して 障害者の 自立を支援

## 全国各地へのツアーを実施

かげぼうし2の会では、社会参加を通して、肢体不自由児・者の自立をサポートしています。「私は障害者の方を障害者という意識で見えていません。堂々と人前に出て、普通の経験をしてほしいと思っています」と、代表世話人の中出繁男さんは話し、福祉施設や障害者の家族を通して届く依頼に応え、体の不自由な方を介助しながら、買い物やコンサートなどさまざまな場所へ積極的に出かけています。中でも、旅行は恒例行事の一つ。これまでに、ボランティア・障害者合わせて20人以上の団体に北海道から沖縄まで全国各地を回ったそうです。

「あくまでも、自主性をはぐくむのが一番の目的です。手取り足取り支援す



日常の買い物をサポート。障害者の自立を後押ししています

るわけではなく、どうしてもできないことだけをお手伝いしています」と中出さん。会の名前の通り、メンバーが前に出ることは決してなく、障害者本人の自由な意思を第一に考えた活動が心がけています。また、同会では、小松市内外の小中学校を訪問し、障害者と児童・生徒との交流イベントなども数多く企画。地道な活動を通して、同会が目標に掲げる「心のバリアフリー」は、少しずつ広がっています。



全国各地へのツアーを企画

●問い合わせ  
かげぼうし2の会  
代表世話人 中出 繁男  
TEL 0761 (22) 8024

# 「無料化」スタート

北陸新幹線金沢開業効果を県内全域に波及させるため、新幹線でお越しになった皆さんが県内を回遊する際に障壁となるものを取り払わなければなりません。能登有料道路をはじめとした3つの県内有料道路では、金沢開業の約2年前となる3月31日正午から無料化をスタート。併せて、能登有料道路を「ふるさと紀行『のと里山海道』」に改称し、ツアー企画やカーナビの地図に反映させ、誘客拡大を図ります。

## ふるさと紀行

# のと里山海道

能登有料道路の無料化に併せ、  
能登有料道路直線化区間・  
鞍月—大河端間供用開始

能登有料道路の無料化に加え、3月には、粟崎(金沢市)—大根布JCT(内灘町)間(約3.4キロ)で進められていた直線化工事が暫定2車線で供用し、金沢外環状道路海側幹線の鞍月—大河端間も供用を開始します。これによって金沢市街地と能登を結ぶ交通の利便性向上や物流の円滑化が図られます。

### 金沢市中心部と能登のアクセスがより便利に

例えば、能登方面から金沢市中心部の兼六園に向かう際、白尾IC(かほく市)で下り、国道159号、国道8号を経由し、山側環状を利用する兼六園メインルート(図：ピンク色)では、これらの整備により交通量が分散し、従来よりもスムーズに目的地までアクセスできると予想されています。

そして、能登方面から金沢駅周辺を目指す車は、千鳥台(内灘町)で下りて鞍月—大河端間を利用することにより、金沢駅方面と兼六園方面へ向かう車が、大根布JCTで分散され、従来よりもスムーズに各目的地に到着できると考えています。加えて、これらのルートを分かりやすく誘導できるように、案内標識を新たに設置し、整備効果を高めていけるよう工夫していきます。

このように、交通が分散されることで、交通渋滞の解消や時間短縮につながり、さらには車から排出される二酸化炭素が減少し、地球温暖化防止にも役立つと考えています。  
現在、白尾IC—千鳥台間(約11.1キロ)では北陸新幹線金沢開業に向けて、4車線化を進めています。この完成によって、金沢と能登をつなぐ大動脈としての利便性がさらに向上します。

## みちカードなどの払い戻しをお忘れなく

下記の払い戻し場所すべてで、県内の有料道路で利用していた「回数券」や「みちカード」の払い戻しを受け付けます。また、郵送での払い戻しもできます。期間は今年6月30日まで。お近くの払い戻し場所をご利用ください。

- 【払い戻し場所】
- 中能登土木総合事務所  
のと里山海道維持管理課(旧石川県道路公社)  
羽咋市寺家町148-2  
受付時間 午前9:00～午後5:00(4/1～6/28 平日のみ)  
※郵送をご希望の方は、事前にのと里山海道維持管理課までお問い合わせください。[TEL 0767(22)6090]  
※4月1日以前でも、払い戻しができます。[午前8:30～午後5:15(平日のみ)]
  - 川北大橋管理事務所(料金所横)  
川北町三反田東146-1  
受付時間 午前9:00～午後6:00(4/1～5/6 毎日)  
午前9:00～午後6:00(5/7～6/28 平日のみ)  
※4月1日以前でも、払い戻しができます。[午前8:30～午後5:15(毎日)]
  - のと里山海道  
高松SA(上り線・下り線) 特設払い戻し所  
かほく市二ツ屋16-3  
受付時間 午前9:00～午後6:00(4/1～6/30 毎日)
  - 石川県庁  
金沢市鞍月1-1  
■ 4/1～5/6  
受付時間 午前9:00～午後6:00(平日)  
午前10:00～午後6:00(土・日・祝日)  
■ 5/7～6/28  
受付時間 午前9:00～午後5:00(平日のみ)

このほか、輪島市役所、門前総合支所、珠洲市役所、能登町役場、穴水町役場、七尾市役所、中島市民センターでも受け付けています。



無料化は3月31日(日)正午からです!



SA・PAをリニューアル  
魅力ある休憩スポットに

能登有料道路の無料化と北陸新幹線金沢開業の効果を能登地域に波及させるため、高松SA、志雄PA、西山PA、別所岳SAを順次、リニューアルし、利便性や魅力の向上を図っていきます。

また、料金所については、無料化後、速やかに撤去工事を始め、併せて合流車線や減速車線を整備していきます。最もブースの多い今浜料金所では今年9月末まで、それ以外の料金所は今年夏までに工事を終える計画です。無料化後、しばらくの間工事をしていますので、安全運転に心がけてください。

【問い合わせ】  
県道路建設課 / TEL 076(225)1722

おすすめの公演はこちら

※やむを得ず内容等に変更が生じる場合がございます。ご了承ください。

●華々しいオープニングでスタート

4/28(日) 午後2:00(予定)～  
県立音楽堂コンサートホール

出演/オーケストラ・アンサンブル金沢 井上道義(指揮) 竹澤恭子(ヴァイオリン) 須川展也(サクソフォン)  
演奏曲/ドビュッシー: 小組曲、サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン、ララ: グラナダ ほか  
料金/S:3000円、A:2500円



アーティストック・プロデューサー  
(オーケストラ・アンサンブル金沢)  
音楽監督  
井上道義氏

ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭のオープニングを飾るのは、世界で活躍するヴァイオリニストの竹澤恭子さんと日本のクラシックサクソフォンの第一人者・須川展也さんをソリストに迎えた豪華なプログラム。フランスとスペインの名曲を堪能しましょう。

●金沢ならではの能とのコラボレーション!

5/3(金・祝) 午後8:00～ 県立音楽堂邦楽ホール

出演/渡邊菊之助(能舞) 田島睦子(ピアノ) 相良容子(ピアノ)  
熊田祥子(ソプラノ) 料金/1500円

金沢が誇る加賀宝生の能舞とクラシックのコラボレーション。フランスの作曲家ラヴェルの「ボレロ」に日本の伝統芸能「能」が融合し、研ぎ澄まされた舞台芸術となります。これは見逃せない公演の一つです。

●市民参加型の公演で気軽に楽しむ

シャンソンの日

4/29(月・祝) 午後1:00～午後6:00  
県立音楽堂邦楽ホール

このほか、スペインの代表的な音楽・フラメンコ、フランス音楽に革新的な創造をもたらしたジャズなど当時パリをにぎわしたさまざまな音楽が音楽祭期間中に楽しめます。

●フランスの本流を聴く

5/3(金・祝) 午後4:00～  
県立音楽堂コンサートホール

出演/フランス国立ロワール管弦楽団 パスカル・ロフェ(指揮)  
演奏曲/ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲、ドビュッシー: 海 ほか 料金/S:2500円、A:2000円



フランス国立ロワール管弦楽団

ラ・フォル・ジュルネの発祥地フランス・ナント市を本拠地とするロワール管弦楽団のコンサート。クラシックの「印象派」と呼ばれるドビュッシーの美しい名曲が堪能できます。

●異国情緒を味わう

5/3(金・祝) 午後6:30～  
県立音楽堂コンサートホール

出演/パブロ・サインス・ビジェガス(ギター) オーケストラ・アンサンブル金沢 井上道義(指揮)  
演奏曲/ファリャ: 「三角帽子」第1組曲、ロドリゴ: アランフェス協奏曲 料金/S:2500円、A:2000円



パブロ・サインス・ビジェガス氏

20世紀初頭、パリで活躍したスペインの作曲家のエキゾチチズムあふれる名曲の数々をお楽しみください。ギターはフラメンコ・ギターの名手、パブロ・サインス・ビジェガス氏。お聴き逃しなく。

●壮大な音楽を体感する

5/4(土・祝) 午後4:00～ 県立音楽堂コンサートホール

出演/黒瀬恵(オルガン) 大阪フィルハーモニー交響楽団 井上道義(指揮)  
演奏曲/サン＝サーンス: 交響曲第3番「オルガン付」ほか  
料金/S:2500円、A:2000円

フランス音楽界の巨匠サン＝サーンスの有名な交響曲第3番を県立音楽堂コンサートホールが誇るパイプオルガンと90人の大編成オーケストラで体験してください。



ラ・フォル・ジュルネ  
金沢 2013  
KANAZAWA

今年のテーマ

パリ、至福の時

L'heure exquise

～フランスとスペインの音楽～

19世紀後半から20世紀初めにかけて、世界の音楽首都へと変貌を遂げていくフランス・パリ。ビゼー、サン＝サーンス、ラヴェル、ドビュッシーなどのフランス音楽界の巨匠、フランスで活躍したスペインの作曲家ファリャやロドリゴなどにスポットを当てた約150公演(有料・無料含む)を通して、当時のパリを舞台に繰り広げられた革新的なクラシック音楽の潮流を再現します。



右手前がラヴェル、左からフォーレ、ドビュッシー、ミシア、セル、アルベニス、サティ、ファリャ、ブーラン

問い合わせ・チケット

ラ・フォル・ジュルネ金沢チケットボックス  
金沢市昭和町20-1 石川県立音楽堂内 TEL076(232)8118

最新情報は  
ホームページをご覧ください

www.lfjk.jp

今年のゴールデンウィークも、「ラ・フォル・ジュルネ金沢」で金沢の街中はクラシック音楽一色に包まれます。小さな子どもから大人まで楽しめる公演が盛りだくさん。1公演は約45分、一流の演奏が低料金で気軽に楽しめるクラシックの祭典で、多くのコンサートをお楽しみください。

北陸エリア(福井・石川・富山)

4.27(土) ▶ 5.4(土・祝)

オープニング公演 4.28(日)

石川県立音楽堂 4.28(日) ▶ 5.4(土・祝)  
金沢市アートホール 5.3(金・祝) ▶ 5.4(土・祝)

# 能登島長崎町 (七尾市)

能登島の東側に位置する

能登島長崎町は、26軒の家々が並ぶ集落で、穏やかな富山湾に面しています。結成4年目のまちづくりグループ「能登島自然の里ながさき」では、県の先駆的里山保全地区に選ばれる同地区で、里山里海を生かした取り組みに力を注いでいます。

## 海山の恵みを生かし 町産100%のみそを手作り

昨年、町の新たな特産品を目指してみそ作りをスタートしました。みそは、耕作放棄地を農林ボランティアの方々と再生して生産した大豆を使い、麹はメンバーが作ったコシヒカリを利用。塩も海水をじっくり煮詰めて手作りしたもので、原材料のすべてを集落内で調達している点が特徴です。昨年11月には2日間の日程でみそ作りモニターツアーを開催し、金沢市や七尾市から訪れた参加者から大変喜ばれました。

また、耕作放棄地の増加で荒廃が進んでいた田畑や林地



▲住民の力を結集し展望台を整備

の整備にも取り組み、昨年には立山連峰を望む展望台とそれにつながる散策路が完成。20カ所にビオトープを設

置するなど、生物多様性の保全活動も活発で、大学と連携し、集落内だけに見られる固有種の研究も進めています。

### 子供の頃の光景を取り戻したい

里山からのメッセージ

能登島自然の里ながさきの皆さん

中山博さん、室屋哲生さん(代表)、角三繁夫さん、源内伸秀さん

(写真左から)

「グループ結成のきっかけは、目の前の海や山で遊び回った子供の頃の光景を取り戻したいと考えたことでした。県の農村ボランティアの協力もあって、少しずつかつての姿を取り戻しつつあり、これからはもっと、集落の魅力を発信していきたいと考えています。そして、交流人口の拡大とともに、集落を離れて暮らす人たちがもう一度、戻って来たいと思えるふるさとづくりを目指しています」



能登島自然の里ながさき  
七尾市能登島長崎町28-9  
(長崎町多目的集会場)  
TEL 0767 (84) 1702  
ホームページ notojima.web.fc2.com/

## ふるさとの歴史・文化を探る

### 白山ろく民俗資料館

(白山市)

#### 出作りや養蚕など 白峰の暮らしを伝える

白山市白峰の白山ろく民俗資料館は、白山ろくの自然や豪雪など厳しくも豊かな環境の中ではぐくまれてきた山村文化を伝える施設です。

白峰地域ではかつて、夏期は山で焼畑や養蚕をし、冬期は村に帰って生活する、出作りという生活様式が盛んでした。出作りと

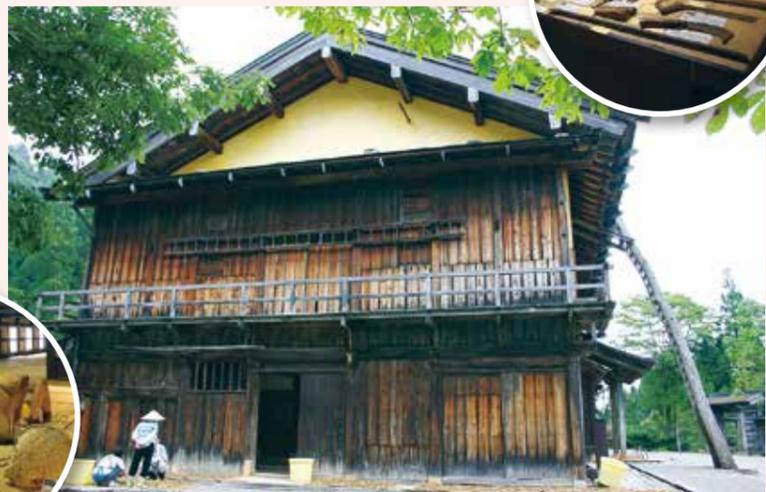
いうと自給自足＝貧しさをイメージしますが、養蚕や冬期に生産した織物は経済価値が高く、地域に豊かな生活をもたらした。活発な経済活動が行われていました。館内には、そんな歴史を物語る資料が豊富で、さまざまな道具類や生活用具などを数多く展示しています。さらに、

国指定の文化財2軒を含む周辺地域の旧家6軒を移築している点も見どころの一つで、当時の白山ろくでの暮らしを感じることができます。

6月23日までは企画展「白山ろくの民具―素材と特性―」を開催しています。防水性や保温性など、植物の特性を生かして製作した数々の民具を展示し、自然と共生してきた先人の知恵を紹介しています。



▲養蚕などに使った道具類を数多く展示



▲村役人を務めた旧家・杉原家(県指定有形文化財)

### 白山ろくの文化を体験!

白山ろく民俗資料館では民俗資料の展示のほか、白山ろく独特の山村文化を象徴するイベント(焼畑やトチ餅つきなど)や、ミヤマカワラハンノキという樹木の葉や樹皮を使ったオバル染め(1人350円)、ワラ細工(無料)の体験も実施しています。いずれも事前予約が必要です。一度、お問い合わせいただき、ぜひご家族でお楽しみください。

オバル染めが完成したよ



#### 交通アクセス



白山市白峰り30  
TEL 076 (259) 2665  
ホームページ

- 開館時間/午前9:00~午後4:30 (入館は午後4:00まで)
- 休館日/毎週木曜、祝日の翌日、12月11日~3月9日は冬期休館
- 入場料/一般250円、高校生以下無料

# 兼六園無料開園 & 金沢城・兼六園 観桜期ライトアップ

桜の開花に合わせて、期間限定で兼六園を無料開園します。同時に金沢城公園と兼六園のライトアップも実施。園内に咲き誇る桜を存分にお楽しみください。



## 日時

4月上旬からの1週間(予定)  
(桜の開花宣言後、実施)  
午前7:00~午後9:30  
(ライトアップは午後6:00~午後9:30)

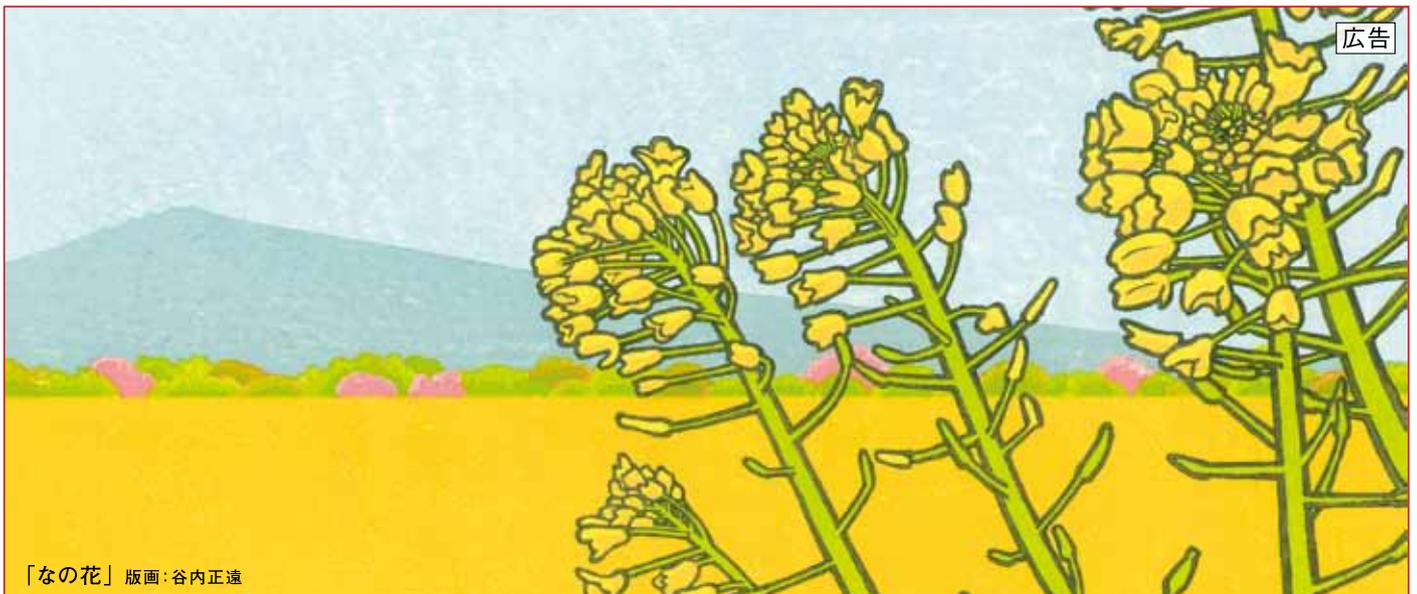
## 場所

金沢城公園、兼六園(金沢市)

## ●問い合わせ

金沢城・兼六園管理事務所 TEL 076(234)3800

広告



「なの花」 版画:谷内正遠

## 明治10年8月、加賀藩前田家の出資により創業

明治9年の銀行条例改正を機にいち早く金沢に誕生したのが、北陸銀行の前身である「金沢第十二国立銀行」であり、明治10年7月2日(開業は8月26日)、時の大藏卿「大隈重信公」から開業免状が下付されました。

資本金20万円のうち、加賀前田家から過半の14万円が出資され、初代頭取は御算用奉行などの要職を歴任し、福沢諭吉とも親交のあった「小幡和平」が就任しました。

また初代支配人の「米山道生」は、明治12年、第2代石川県会議長となり、明治13年1月金沢商法会議所(現金沢商工会議所)の初代会頭に任じられました。

明治初年の大変革期にあって、金沢回生の一翼を担ったのは、加賀藩士と今の北陸銀行でした。



●金沢第十二国立銀行開業免状の写(北陸銀行金融歴史資料館蔵)

金沢支店 / 〒920-8686 金沢市南町5-28 TEL.076-263-5131

[www.hokugin.co.jp](http://www.hokugin.co.jp)

お客様の「うれしい」を、私たちの「うれしい」に。北陸銀行

## 前略 石川県知事

県政に対する  
ご意見・ご提言を  
お寄せください



住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)  
石川県広報広聴室「前略 石川県知事」あて  
TEL 076 (225) 1362 FAX 076 (225) 1363

## ふるさと納税

「ふるさと石川」の魅力アップに活用します。県外在住のご協力者を紹介してください。

●問い合わせ  
石川県民交流課 TEL 076 (225) 1361  
[www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/](http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/)



環境保護のため、大豆インクを使用しています。紙は資源です。リサイクルしましょう。